アイネ・クライネ・コンチェルト 11/11 (日)

今日は舞台リハーサル

パルテノン多摩へ26日(金)7時集合!

秋晴れのポカポカ陽気の10/21(日)に第2回合同レッスンが開かれました。道の途中、真っ白に雪化粧した富士山も眺められ、穏やかな気分で午前部の、小フーガのレッスンが始まったことでした。ここ稲城市第三文化センターは平尾住宅(団地)のはずれの緑に囲まれた静かな住宅街にあり、ゆったりとレッスンが出来る会場です。午後は全員が揃って「真珠とりのタンゴ」「歓喜の歌」「悲しき天使」を順番にやり、最後に当日のステージを想定して出入りと席替えの練習をしました。練習にはパーカッションの宮本さんも加わって、曲も一層華やかになりました。舞台監督さんも視察に訪れ、この日の参加者は17名。勝俣静雄さんの写真撮影がまた始まりました。

お客さんの笑顔が見られる演奏に

川口裕志

9月の関東アコーディオンコンクールでゲスト審査に携わった千足学園音楽大学ジャズ科の先生(なんと稲城ACで育った丸茂睦=現在はプロ活動中=の先生だった)が、総評で「表現が圧倒的」「人間の声が聞こえる素晴らしい楽器」とアコーディオンを評しました。嬉しい評価です。

アコーディオンとブラスのコラボの継続的などりくみは、音楽ジャンルの中でもきわめてマイナーなアコーディオン界において、稀少かつ先駆的な実践です。また、昨年ヴィータ・マンズリーコンサートにおける東日本大震災復興支援の活動もアコーディオン界では全国に先駆けての

とりくみでした。観客と共にした感動を今一度思い起こし、こうした実績に確信を持ってコンサートを迎えましょう。

本番では、一人ひとりの力を出し切って、お客さんの笑顔が見られる演奏にこぎつけましょう。その保障は各人の納得できる練習と準備です。

もとよりコンサートを構成するものは出演者、スタッフ、そして何よりも聴衆です。そのどれが欠けても成り立ちません。まして有料コンサートの場合、お客に買っていただくチケットが、コンサート成功の大きな財源です。企画的にも、運営（財政）的にもそれは大きな位置をしめています。今回のコラボのコンサートの場合、チケット組織の分担は最小限のものになっています。しかし分担をやりきれば会場が満杯になるかということそうではありません。分担にかかわらず、できる限りチケットを広めることが成功の鍵です。自分たちのお客さんは演奏者の励みとなり、様々な感想が直接聞ける批評者です。

今から、家族や友人、知人、まわりにももう一声かけていきましょう。

事務局から

人を組織する力、それは私たちみんなの財産です。一人ひとりが1人、2人とまわりで誘ってお客を増やすことはコンサートを大きく盛り上げる力となり、それは次のコンサート開催への布石ともなります。そして私たちの愛する楽器、アコーディオンやブラスの魅力を広げ、仲間を増やすことにつながります。昨年末のヴィータ・マンスリーコンサート後、稲城ACに5人の入会者が生まれたことは偶然ではないでしょう。

●チケット販売の集約 11/4（日）

11/4にチケットの集約を行います。売れた分の入金と残券の回収作業を行います。（一人3枚が原則）すでに全体で100枚（うち子ども券10）のチケットが出回っていて「風のアンサンブル」の責任分担分70枚（うち子ども券10）はすでに販売の見通しがたちました。

入金が現在約60枚。稲城ACでは40枚を入金しました。大きな力です。一人で10数人をさそっているメンバーも数人います。しかしまだチケットを持っていない人もいて、まだ誘えていない状況も若干あります。各自目標最低3枚を確実に売りましょう。

●服装

上下黒です。靴も準じる。

ヴィータ・マンスリーコンサートと同じです。

風のアンサンブル事務局長 後藤広一

パルテノン多摩

<↑会場名をク

リックすると地図が表示されます>

(042-375-1414)

〒206-0033 東京都多摩市落合2-35

●電車利用の場合

京王線・小田急線・多摩モノレールとも
多摩センター駅下車 徒歩5分

●お車の場合

・パルテノン多摩東・西駐車場各約100台
・多摩センター地区共同利用駐車場

1時間：240円(以降30分毎に120円)

■お問合せ、緊急のご連絡は下記の携帯に。
携帯☎090-3816-6189(後藤)

Mail;k-0351-g@ezweb.ne.jp

■当日スケジュール

集合7:00/舞台配置、出入りが中心ですが、終了後ステージ練習の可能性がありま。9時半頃まで待機してましよう。

★当日は以下のものをおもち下さい。

□楽譜 悲しき天使/歓喜の歌/真珠とりのタンゴ/小フーガト短調（出演者のみ）

□譜面台 □筆記用具